

令和3年度第2回印西市史編さん委員会議事録（要旨）

- 1 開催日時 令和4年3月25日（金）午前10時00分～午前10時50分
- 2 開催場所 中央公民館 第3会議室
- 3 出席者 中澤委員、村越委員、榎委員、宿城委員、岩崎委員
- 4 欠席者 五十嵐委員、鏑木委員、木村委員、小林委員、大友委員
- 5 事務局 鈴木生涯学習課長、飯塚所長、野村主査、大関学芸員
- 6 傍聴者 0人（定員5名）
- 7 議 題
 - （1）令和3年度事業報告について
 - （2）令和4年度事業計画（案）について
 - （3）その他

所長挨拶

議事録署名委員の選出 宿城委員を選出

議 題

議題（1）令和3年度事業報告について

《事務局説明》

資料1をもとに、令和3年度事業報告について説明。

《委員意見》

委員 歴史資料センター展示事業について、来館者は令和2年度は何人か。

こういう時こそ博物館等を積極的に活用してほしいという提言がでていますが、来館者数が減ってるのではないか。しかし、令和3年度はミニ企画展を開催しており、評価している。今後もどんどん市民に還元してもらいたい。

事務局 令和2年度に比べ増加はしている。

委員 資料1の「その他」（1）歴史資料の収集及び整理・保管事業で史料整理をし

ている宝田家文書について、約1600点の整理も素晴らしい。実は、過去2年間は市民参加型として本埜公民館で作業していたが、現在コロナ禍で休眠状態である。令和4年度からどうするのか。資料整理の市民参加の芽をつぶしてほしくないので、今後の対応をお聞かせ願いたい。

事務局 宝田家文書については本埜公民館に保管している。しかし、本埜公民館も令和5年度の9月から改修工事にはいつってしまうため、それまでに整理をしたい。今まで市民参加型で作業していたが、令和4年度は会計年度任用職員を2名から4名に増やし、うち3名は宝田家の資料整理をする予定である。会計年度任用職員も、最初は学芸員の指導を仰ぎながらになるため、例えば木下まち育て塾の会長が令和4年度から委員となるが、今後は会長やみなさんと相談しながら、市民参加型をやっていききたい。ただ、最初は会計年度任用職員で作業を始め、センター主導でとりかかる方向で考えている。令和5年8月までには解決したい。

議長 今まで続いていた市民参加型を活かしながら、センターが中心となって指導しながら主導していくということによろしいか。

事務局 あくまでボランティアであり、有償ではないのでどこまでお願いしたらよいか。会計年度任用職員がまずは作業を開始し、市民参加としてどこまで協力してもらうかが課題である。

議長 短期間で方法や整理要項を確認しながら作業メンバーに知っていただくことは大変である。見直しや用語の統一は後からセンターでできるが、労力が大変にならないために、方法を一本化していくことが重要。

委員 方向性はそれでよいと思う。教えをうけながら整理に参加していくことがよい。

事務局 会計年度任用職員のうち2名は古文書が読めるので、他の会計年度職員とは異なる。古文書の学習意欲もある。

議長 歴史公文書について、令和3年度の移管が140箱とあるが毎年これくらいなのか。

事務局 令和2年度は約30箱。令和元年度は約70箱である。長期保存から廃棄に回る文書が多い年は移管も多くなっている。

議長 歴史公文書の県文書館のアドバイザーをやっているが、永年保存から最高30年保存に切り替わる中で、30年過ぎたら機械的に捨ててよいというものではない。残すべきものは残さなければならないが、みなさんの手腕が問われるところである。歴史と行政両方の目で拾っていくことを考えなければならない。いかに文書を救うかを県文書館でも周知しており、全国各自治体でもそのような趨勢である。印西市では印旛郡市地域史料保存利用連絡協議会で作成した基準に則って担当者が判断していると思うが、30箱から140箱に増えたのは意識効果がでていいる。ますます救うということに意識していただきたい。

委員 今年度受け入れた資料はどちらに保管しているか。

事務局 今年度については、一時的措置として本埜公民館に保管している。

委員 スペースはあるのか。

事務局 厳しい状況である。保管場所についても考えなければいけないが、生涯学習課と相談している。印旛歴史民俗資料館と文化係でも資料を保管しているため、一手に保管する場所を文化係で模索している。

委員 収蔵庫ができるとよい。

議長 30箱でよいのだと意識されるとスペースの問題も解決できない。救うという意識付けをして選別すると140や200箱となる。保管場所の必要性にもつながる。歴史公文書は歴史資料なので、頑張ってください。

意見・質問等については以上。

議題（1）について承認をいただいた。

議題（2）令和4年度事業計画（案）について

《事務局説明》

資料2をもとに、令和4年度事業計画（案）について説明。

《委員意見》

- 委員 宝田家資料目録について、令和5年8月を目標に整理するということが、資料からは伝わってこない。具体的にどう進めるのか。
- 事務局 令和4年度4月から会計年度任用職員4名のうち3名が整理を進めていく。市民参加型はあくまでボランティアなので、委員さんに意見をいただきながらどのように参加するのか進めていきたい。
- 議長 市民は公募にするのか、どのような形で参加していくのか。
- 事務局 検討はしたいが、あくまでボランティアである。有償ではないので、公募にすべきかどうか。
- 議長 ボランティアを公募することはできるのではないかと。ただ、誰でもよいというわけではないと思うので、募集を古文書整理経験者にするのか、経験なしも募集するのか。
- 事務局 経験のない人にかかわっていただくと時間がかかってしまうため、以前のメンバーにお声かけをするのがベストかなと考えている。ただ、それも十人十色で、当方としては期間までに終わらせなければならないため、進まなくなると困る。
- 議長 今までのメンバー構成は。
- 委員 ふるさと案内人協会と木下まち育て塾のメンバーである。公募はやっていないが、本来は公募が一番望ましい。宝田家は市民参加型をやり始めた第一号であるため、芽をつぶさないでいただきたい。
- 議長 公募や口コミなどどれくらい集まるのか、ただ人数が多くても方法が統一されなくなってしまう。
- 事務局 4月から会計年度任用職員による整理は始める。
- 委員 常設展だけではリピーターがこない。ミニ企画展は負担のない範囲でやっていただきたい。

- 事務局 常設展だけだと飽きられてしまうため、できるだけ開催はしていきたい。
- 議長 展示、編さん、整理と大変である。人員は増えないかもしれないが、予算はつけていただきたい。いろんな仕事の平行の中で頑張っていると思うので、継続していただきたい。
- 委員 展示ケース一つ分でもよいので、開催していただきたい。
- 委員 公文書の引継管理は、古くから役場時代から取り組んでいる。市職員にも歴史的価値のあるものがあるという認識は広がっていると思う。無断廃棄はないか。
- 事務局 廃棄する前に各課からお声かけはいただいている。
- 議長 現場の方に意識があれば安心である。評価選別の担当はセンターでよいのか。
- 事務局 その通りである。
- 委員 企画展の中で、地球温暖化が課題になっている。かつて水害も多かった。そのような企画を提示し市民の意識を高めてもらえたらよい。

意見・質問等については以上。

議題（２）について承認をいただいた。

議題（３）その他

特に議題なし。

- 事務局 委員長におかれましては議事進行、誠にありがとうございました。
- 委員の皆様におかれましてはお忙しい中ありがとうございました。
- また、五十嵐委員、村越委員、小林委員、宿城委員、岩崎委員がご勇退されることとなりました。ありがとうございました。
- これで終了させていただきます。

使用した資料

令和3年度第2回印西市史編さん委員会 資料

令和3年度第2回印西市史編さん委員会の議事録は事実と相違ないので、これを承認する。

令和4年3月31日

印西市史編さん委員会

議事録署名委員 宿城 高興